英語3

科目ナンバー　0A213
総合基礎　　必修　　1単位

須賀　晴美

1. 授業の概要（ねらい）

この授業は総合基礎科目の学修目標1、2、3に関連した科目です。英語の4技能をバランスよく向上させることを意識しながら授業を展開していきます。

初めに教科書の学修をします。内容はダイアローグの聴き取りに始まり、聴き取りのコツ、ダイアローグを使ったペア・ワーク、与えられた英文の理解を問う問題、リーディング上達に役立つ文法のポイント、その文法を使った英作文、英文に関する意見を述べる練習へと進んでいきます。

次に、読解力を着実に向上させるため、インターネットの多読サイトを利用して、英語の電子書籍を授業中と授業以外に読む作業もします。この作業をすることで、順調な語彙力の増強、読解スピードの向上を目指します。この多読の課題では、受講生はアクティブに興味のある本を選び、各自に合ったスピードで学習者用の電子書籍（e-book）を読みます。1冊読み終わるごとに、英語の小問 (Quiz) に答えてもらいます。お薦めの本を1冊選び、それを紹介する英文を書きます。

この授業はアクティブラーニングを導入しています。

2. 授業の到達目標

これまでの学習を基にして、さらに総合的な英語力の充実を図り、実践的な運用能力の向上につなげることを目標とします。

具体的には以下のことを到達目標にします。

1.『新JACET8000』の4000語レベルの語彙で書かれた英文を読んで理解することができる。
2. 英語らしい音変化を含みながら、ゆっくり発音された会話や文章を、語彙レベルがやや上がっても聞き取ることができる。
3. 自分の興味・関心にあった、ほどよい難易度の本を選び、各週授業内30分、授業外30分以上の多読を継続的に行うことができる。
4. e-book を1冊読み終わるごとに、内容理解を問う3つの英問に答えることができる。
5. 70語以上の本に関する推薦文を英語で書くことができる。

3. 成績評価の方法および基準

期末試験 (40%)、読み取り語数・内容理解のクイズ・読解力小テスト (30%)、本の紹介の英作文 (10%)、VELCテスト(10%)、Book Report・授業への参加の度合 (10%)

・期末テストのテスト範囲は、教科書から70%、初見の英文を読み取る応用問題が30%で出題します。
・読み取り語数はウェブの多読サイトに記録されていきます。
・Book Report (読書の記録) を提出してもらいます。
　[欠席した時は、次週に休んだ分を提出すれば、一回分の点数を失いません。ただし、評価はAではなくB゜が最高となります。]
・自分が推薦する本の紹介を英語で作文してもらいます。
・Book Reportと英作文は評価してLMSで返却・フィードバックします。
・VELCテスト (英語力診断テスト) を受験した人には10%の評価点が与えられます。
・授業への参加の度合は、予習がしてあり指名時に答えられるか、多読の作業に真剣に取り組んでいるかなどを評価します。

4. 教科書・参考文献

教科書
静 哲人、望月 正道、熊澤 孝昭　『AMBITIONS Pre-intermediate』
ISBN：978-4-7647-4055-6 C1082　金星堂 (￥2,000 +Tax)

5. 準備学修の内容

[教科書の予習]
1.　リスニング問題の中に分からない単語があれば、意味を辞書で調べておきましょう。(5～10分)
2.　教科書の音声を自分のパソコンやスマートフォンにダウンロードし、それを聴いてListening Focusまで問題を解いてみます。音声のURLは→ https://www.kinsei-do.co.jp/books/4055/2/ (15分)
3.　Find Out の英文を読みます。その際分からない表現は、Notesを見たり、辞書で調べたりしながら意味を取っていきます。(25分)
4.　Check the Pointsの音声を聴き、正しい選択肢を選び、本文の内容と合っているかどうかを答えます。(5～10分)
5.　Reading Focus の文法の説明を読み、Practice の問題に答えます。(7分)
6.　Practice Moreの部分英作文をします。もし英語に直らない単語があれば和英辞典で調べておきます。(5～10分)
7.　Say What You Thinkで自分の意見に近いものを選んでおきます。(5分)

[教科書の復習]
1.　間違った問題に関しては、正解を出せるように練習します。(10～20分)
（Check the DetailsとPractice Moreの答が覚えにくい場合には、つづりまで正しく覚えられるよう、紙に書いて練習するのをおすすめします。）
2.　Check the Detailsのダイアローグは滑らかに読めるように練習します。(5～10分)
3.　Find Outの英文はダウンロードした音声を聴いて、そのスピードで意味が分かるかどうか、練習しても良いでしょう。(10分)

[電子書籍の多読をする準備学修]
1.　自分にあった難易度で、興味の持てる本を多読サイトから選び、授業外に総計30分以上読書をします。(30分以上)
〈時間配分は15分を2セット行ってもよく、組み合わせを工夫してください。〉
2.　本の紹介文作成に備えて、気に入った本の題名をメモしておく (読書後に)
3.　復習として、LMSで返却されたBook Report や 英作文へのコメントを読みます。(5分)

6. その他履修上の注意事項

・毎回の授業には必ず英和辞書・和英辞書(紙の辞書・電子辞書どちらでも可)を持参してください。
(ただし留学生の人は、英語を母語に、そして母語を英語になおせる辞書が好ましいです。)
・多読サイトは英語の音声も聞けるため、イアフォンを持参してください。
・多読サイトを読むために、自分の使い慣れたパソコンやタブレットを教室に持ち込んで下さい。
(ただし、貸し出し用の学校のタブレットも用意できます。)
・パソコン画面で目が疲れやすい人は、ブルーライトカットの眼鏡を用意してください。
・課題の返却については授業でも通知しますが、LMSを定期的にチェックしてください。

様々なアクティビティーを体験して、あなたの英語力が上がることを期待しています。

7. 授業内容

【第1回】 ガイダンス(授業の進め方、準備学修、評価方法など)
授業と研究の関係について、リーディングに関するアンケート①、VELCテストについて
Free Writing 1 (自己紹介)

【第2回】 Unit 1. Cross-Cultural Understanding (強く発音される語を聞き取る・語彙の学修)
多読をやってみよう:多読サイトで e-book の多読、クイズに答える

【第3回】 VELCテストを受ける

【第4回】 Unit 1. Cross-Cultural Understanding (仮の主語を見抜く[It～that 構文]:読解・文法・英作文)
e-book の多読、クイズに答える

【第5回】 Unit 2. Foods (語順のまま理解する・語彙の学修)
e-book の多読、クイズに答える、Book Report (読書記録) 1 を提出
読解力小テスト

【第6回】 Unit 2. Foods (後ろからの説明を見抜く [後置修飾]:読解・文法・英作文)
e-book の多読、クイズに答える、Book Report 2 を提出

【第7回】 Unit 3. Foreign Language Learning (消える t と d を聞き取る・語彙の学修)
e-book の多読、クイズに答える、Book Report 3 を提出

【第8回】 お薦めの本の紹介文の原稿作成
Unit 3. Foreign Language Learning (実現の可能性を見抜く [仮定法]:読解・文法・英作文)
e-book の多読、クイズに答える

【第9回】 本の紹介文提出
Unit 4. Sports (弱い can を聞き取る・語彙の学修)
e-book の多読、クイズに答える、Book Report 4 を提出

【第10回】 Unit 4. Sports (and がつなぐものを見抜く [並列1]:読解・文法・英作文)
e-book の多読、クイズに答える、Book Report 5 を提出

【第11回】 Unit 5. Fashion (弱い that を聞き取る・語彙の学修)
e-book の多読、クイズに答える、Book Report 6 を提出

【第12回】 Unit 5. Fashion (but や or がつなぐものを見抜く [並列2]:読解・文法・英作文)
e-book の多読、クイズに答える
読解力小テスト

【第13回】 期末テストのガイダンス
Unit 6. Living Things (n でつながる語句を聞き取る・語彙の学修)
e-book の多読、クイズに答える
授業評価アンケート

【第14回】 Unit 6. Living Things (文脈に合った意味を選ぶ [多義語]:読解:文法・英作文)
e-book の多読、クイズに答える、Book Report 7 を提出

【第15回】 期末試験、まとめ